

様式 4

令和元年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立境高等学校
 学校長 田辺 洋範

評 価 日	令和 2 年 2 月 3 日 (月)	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等
1. 今年度の自己評価について (1) 進路状況について ・高校でも教員の魅力を発信し、教員養成系の進学を増やしてほしい。 ・保育系の進学が多いので、卒業後は地元に戻ってくるような指導をしてほしい。 (2) 学校自己評価について ・業務改善について、部活動は地域の期待のある中で時間削減は難しいのではないかと。中学校では部活動指導員が配置された。時間削減の中でも地域のイベント参加等学校のアピール力は維持してほしい。 ・挨拶はとても良い。校外で出会っても挨拶してもらえる。 2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について ・コミュニティスクールを始めるにあたって、境高生も地域に入行って行って小中学生のモデルになってほしい。地域を愛し、境港が誇りに思える子どもが目指す子ども像。境高生も一緒になってCSの動きが進めばよい。 3. 取組改善のための提言について ・境高校のビジョンで多様性をうたっているが今までの選抜の方法では多様性のある生徒は取れない。今年度定員割れしたのも境高校に問題があるのではないかと。地域の学校として入試から育てることがしっかりできるようにしてほしい。他地区、県外からでも来たいという雰囲気づくりを。		1 (1) ・教員養成系進学 10 名程度。保育系進学 30 名程度。地元での就職が多いと考えている。 (2) ・今まで通りの指導では無理。考え方を変えなければならない。 ・地域のイベント等は可能なものは参加している。 2 ・進路目標を設定するうえでも地域にかかわり課題や自分のしたいことを見つけるきっかけの一つにしたい。 3 ・受検してもらえるために部活動なのか、勉強なのか、他にあるのか意見を聞きながら頑張りたい。